

エコアクション21

環境経営レポート

（対象期間：2023年8月1日～2024年7月31日）



TOBA
株式会社 鳥 羽

発行日：2024年8月20日

株式会社 鳥 羽 環境経営レポート

（2023年8月1日～2024年7月31日）

（1）. 組織の概要

1. 会社名及び代表者名

株式会社^{とば}鳥羽代表取締役社長 ^{こじま} 小嶋 ^{ただし} 匡

2. 事業の内容

油圧・空圧・駆動・伝導機器・計装・電気装置・コンプレッサー・自動制御機器の卸し販売、
計装機器・コンプレッサーの点検業務

3. 事業の規模

	令和02年度 (2020.8.1～2021.7.31)	令和03年度 (2021.8.1～2022.7.31)	令和04年度 (2022.8.1～2023.7.31)	令和05年度 (2023.8.1～2024.7.31)
売上高	44.3	55	59	70
従業員数	75名	80	82	85
床面積	2,893.85㎡	2,893.85㎡	2,893.85㎡	2,997.25㎡
車両台数 備考	59台	61台	65台	69台

（2）. 対象範囲

1. 所在地 および 対象範囲

本 社：〒930-0010 富山県富山市稲荷元町三丁目8番43号
 魚 津 営 業 所：〒937-0046 富山県魚津市江口445番地2
 金 沢 営 業 所：〒920-8205 石川県金沢市大友二丁目2番1
 福 井 営 業 所：〒918-8239 福井県福井市成和一丁目1611番地
 関 東 営 業 所：〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心4-15
 横 浜 オ フ ィ ス ：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1丁目3番地1
 （2024年度より活動開始） ^{Mioxフジユー 6F}
 新横浜アーバンスクエア701

2. 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者：^{やぐらまき} 八倉卷 ^{としひこ} 利彦担当者：^{しまだ} 島田 ^{まさる} 勝

連絡先：(tel)076-433-1117 (Fax)076-433-2440 (E-Mail)office@toba-group.co.jp

3. レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2023年8月1日～2024年7月31日

発行日：2024年8月20日

（3）. 環境経営方針

＜基本理念＞

株式会社鳥羽は大正12年に創業以来、地域に密着した奉仕と感謝の精神でお客様との心の交流を深めてまいりました。

社訓である「以誠交者久遠不渝」(人間の交わりにはいろいろあるが、その根底に誠<真実>の心を蔵していることが永遠に渝らずお付き合いが続く要素である。)をモットーに社会に貢献できる事業活動を目指し、また、環境への取り組みを効果的・効率的に実施することで企業のイメージを向上させ、全従業員が環境課題を自覚し、社会的責任の遂行に努めてまいります。そこで当社は、以下の通り行動方針を定め、より一層環境への配慮を心がけた活動を推進します。

＜行動方針＞

- 1.環境関連法規等を遵守します。
- 2.環境保全活動を推進するために、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努めます。
- 3.次の項目を環境保全の重要項目として、環境目標を設定し、必要があれば見直すなどの効果的な取り組みを行います。
 - 電力・燃料を中心にエネルギーの使用量を削減します。
 - 省資源推進のために、3R(廃棄物の抑制、再利用、リサイクル)を徹底します。
 - 水の使用量を削減します。(1人当たりの使用量の削減)
 - 環境に配慮した省エネ商品の提案・販売を積極的に行います。
- 4.全社員に環境方針を周知徹底し、継続的に環境教育を実施することにより環境保全意識の向上に努めます。
- 5.環境に関する情報を公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

2024年 8月 1日 制定



TOBA
株式会社 鳥 羽

代表取締役 小 嶋 匡

(4). 環境経営目標

 電力・燃料を中心にエネルギーの使用量を削減します。

- 二酸化炭素排出量の削減 **目標値 : 265,042kg-Co2**
 - ☐ 室内冷暖房の適正温度厳守 (暖房23℃、冷房27℃)
 - ☐ 昼食時及び不使用エリアの消灯
 - ☐ アイドリングストップ
 - ☐ 急発進、急加速、急停車の禁止
 - ☐ 無駄な積載荷物の確認及び過積載の禁止
- ※北陸電力㈱の調整後排出係数 0.499co2/kWhを使用しています。

 省資源推進のために、3R(廃棄物の抑制、再利用、リサイクル)を徹底します。

- 一般廃棄物の削減 **目標値 : 2,755.0kg (産廃分を除く)**
 - ☐ ごみ分別の徹底
- リサイクル推進 **目標値 : 6,030.1kg**
 - ☐ 両面印刷、両面コピーの推進
 - ☐ 裏紙使用

 水の使用量を削減します。

- 節水活動の啓蒙 **目標値 : 693.6m³**

 環境に配慮した省エネ商品の提案・販売を積極的行います。

- 目標値 : 885万円/年**
- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ LED照明 | ☐ シルベントノズル |
| ☐ 高効率モーター関連 | ☐ 不二越ロボット |
| ☐ インバータ | ☐ インバータコンプレッサー |
| ☐ NSP型油圧ユニット | ☐ エネサーモ |

 環境関連法規等を遵守します。

(5). 環境経営計画

環境経営目標設定書

作成日:2010年 8月10日 更新日:2023年 8月 2日

承認	確認	作成
社長 2023.08.02 小嶋	環境責任者 2023.08.02 八倉吉	EA21事務局 2023.08.02 島田

コア指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (数値の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値 (基準年度)	年度毎目標・達成手段(数値の自己チェックを踏まえて策定)		
					2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出	電力の二酸化炭素排出量削減	EA21事務局	99,570kg-co2 2022年度 実績 排出係数0.574C D2/1kWh	目標 維持 109,028kg-co2 達成手段 ・エアコンの適正温度厳守 ・不使用エリアの消灯徹底 ・クールビズ運動	再設定 111,000kg-co2 ・エアコンの適正温度厳守 ・不使用エリアの消灯徹底 ・クールビズ運動	維持 111,000kg-co2 ・エアコンの適正温度厳守 ・不使用エリアの消灯徹底 ・クールビズ運動
		自動車燃料の二酸化炭素排出量削減 (ガソリンの削減)		137,700kg-co2 2022年度 実績	目標 維持 144,000kg-co2 達成手段 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速等の禁止 ・過積載の禁止 ・ハイブリット車に更新	再設定 145,500kg-co2 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速等の禁止 ・過積載の禁止 ・ハイブリット車に更新	維持 145,500kg-co2 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速等の禁止 ・過積載の禁止 ・ハイブリット車に更新
		LPG・LNGの二酸化炭素排出量削減 (LPGの削減)		11,906kg-co2 2022年度 実績	目標 維持 12,015kg-co2 達成手段 ・室内暖房時の適正温度厳守 ・未使用時の機器停止の徹底	再設定 13,015kg-co2 ・室内暖房時の適正温度厳守 ・未使用時の機器停止の徹底	維持 13,015kg-co2 ・室内暖房時の適正温度厳守 ・未使用時の機器停止の徹底
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	EA21事務局	2,663kg 2022年度 実績	目標 維持 2,755.0kg 達成手段 ・両面印刷、コピーの推進 ・裏紙利用 ・販売システムの見直し ・DX推進	再設定 2,720.0kg ・両面印刷、コピーの推進 ・裏紙利用 ・販売システムの見直し ・DX推進	維持 2,720.0kg ・両面印刷、コピーの推進 ・裏紙利用 ・DX推進
総排水量	節水	節水	EA21事務局	688㎡ 2022年度 実績	目標 維持 693.6㎡ 達成手段 ・節水活動の啓蒙	再設定 685.0㎡ ・節水活動の啓蒙	維持 685.0㎡ ・節水活動の啓蒙
環境商品	環境商品の販売推進	環境商品の販売推進	EA21事務局		目標 達成手段	設定 422,400万円/年 ・ショールームの有効的な活用 ・セミナールームの活用	維持 422,400万円/年 ・ショールームの有効的な活用 ・セミナールームの活用

(6). 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

1. 取り組み内容

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
	('21.8.1～'22.7.31)		('22.8.1～'23.7.31)		('23.8.1～'24.7.31)		('24.8.1～'25.7.31)
	実績		実績		目標	実績	目標
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減						
	全社	101,993kg-co2	99,570kg-co2		109,000kg-co2	112,365kg-co2	111,000kg-co2
	本社	66,000kg-co2	67,074kg-co2		70,000kg-co2	71,969kg-co2	72,000kg-co2
	魚津	18,700kg-co2	15,201kg-co2		20,000kg-co2	21,534kg-co2	22,000kg-co2
	金沢	12,276kg-co2	12,039kg-co2		13,000kg-co2	12,965kg-co2	13,000kg-co2
	福井	3,307kg-co2	3,578kg-co2		4,000kg-co2	3,931kg-co2	4,000kg-co2
	関東	1,710kg-co2	1,678kg-co2		2,000kg-co2	1,966kg-co2	0kg-co2
	横浜						0kg-co2
	自動車燃料の削減						
	全社	151,122kg-co2	146,107kg-co2		152,500kg-co2	150,897kg-co2	145,500kg-co2
	本社	100,370kg-co2	93,435kg-co2		95,000kg-co2	93,111kg-co2	95,000kg-co2
	魚津	27,910kg-co2	21,250kg-co2		25,000kg-co2	26,576kg-co2	27,000kg-co2
	金沢	14,014kg-co2	14,420kg-co2		15,000kg-co2	14,921kg-co2	15,000kg-co2
	福井	8,828kg-co2	8,595kg-co2		9,000kg-co2	8,105kg-co2	8,500kg-co2
	関東		8,407kg-co2		8,500kg-co2	8,184kg-co2	0kg-co2
	横浜						0kg-co2
	灯油使用量の削減						
	全社	1,564kg-co2	2,634kg-co2		0kg-co2	2,242kg-co2	2,300kg-co2
	本社	※2	※2		※2	※2	※2
	魚津	1,564kg-co2	2,634kg-co2		※2	2,242kg-co2	2,300kg-co2
	金沢	※2	※2		※2	※2	※2
	福井	※2	※2		※2	※2	※2
	関東	※2	※2		※2	※2	※2
	横浜						※2
	LPG・LNG使用量の削減						
	※3全社	12,627kg-co2	11,906kg-co2		12,015kg-co2	12,901kg-co2	13,015kg-co2
	本社	12,627kg-co2	11,906kg-co2		12,000kg-co2	12,887kg-co2	13,000kg-co2
	魚津	※2	※2		※2	※2	※2
	金沢	※1	※2		※2	※2	※2
	福井	※1	※2		15kg-co2	14kg-co2	15kg-co2
	関東	※2	※2		※2	※2	※2
	横浜						※2
	二酸化炭素排出の削減						
	全社	267,306kg-co2	260,217kg-co2		273,500kg-co2	278,405kg-co2	269,500kg-co2
	本社	178,997kg-co2	172,415kg-co2		177,000kg-co2	177,967kg-co2	180,000kg-co2
	魚津	48,174kg-co2	39,085kg-co2		45,000kg-co2	50,352kg-co2	49,000kg-co2
	金沢	26,290kg-co2	26,459kg-co2		28,000kg-co2	27,886kg-co2	28,000kg-co2
	福井	12,135kg-co2	12,173kg-co2		13,000kg-co2	12,050kg-co2	12,500kg-co2
	関東	1,710kg-co2	10,085kg-co2		10,500kg-co2	10,150kg-co2	0kg-co2
	横浜						0kg-co2

※1 鳥羽システム㈱所有のビル内に事務所があり共同で使用しており正確なデータが取れない。

※2 使用していない

※3 本社のみ液化天然ガス(LPG)使用

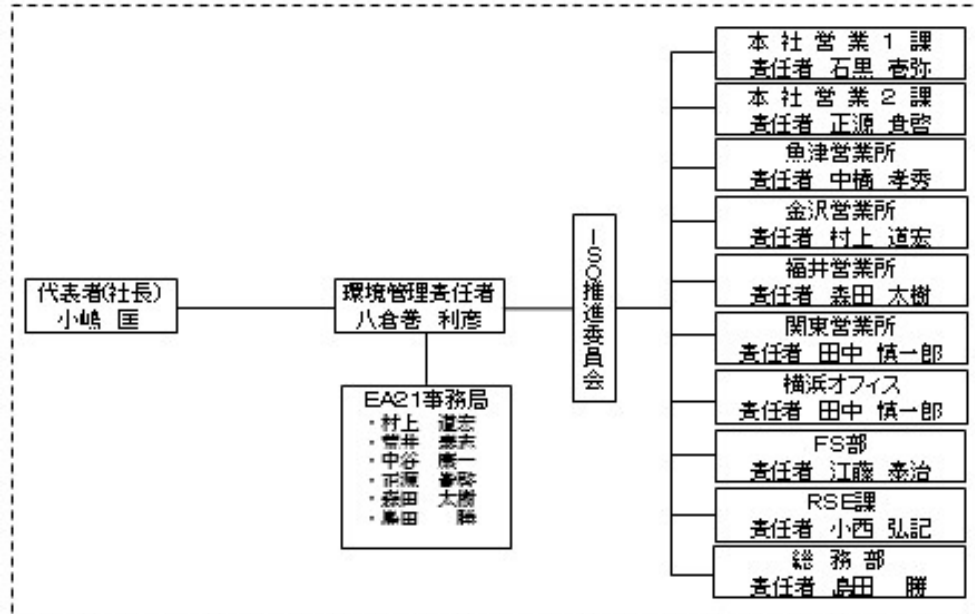
※ 二酸化炭素排出係数は北陸電力 2023年実質排出係数の0.574kg-co2/kWhを使用しています。

		2021年度	2022年度	2023年度		2024年度
		(‘21.8.1～‘22.7.31)	(‘22.8.1～‘23.7.31)	(‘23.8.1～‘24.7.31)		(‘24.8.1～‘25.7.31)
		実績	実績	目標	実績	目標
産業廃棄物排出量の削減	紙類排出量の削減					
	全社	2,817.1kg	3,062.9kg	2,755.0kg	2,630.5kg	2,720.0kg
	本社	2,616.2kg	2,876.0kg	2,500.0kg	2,418.7kg	2,500.0kg
	魚津	137.0kg	130.0kg	200.0kg	176.0kg	180.0kg
	金沢	28.0kg	27.1kg	25.0kg	15.7kg	20.0kg
	福井	24.7kg	20.2kg	20.0kg	15.1kg	20.0kg
	関東	11.2kg	9.6kg	10.0kg	5.0kg	0.0kg
	横浜					0.0kg
	産業廃棄物排出量の削減					
	全社	5,110.0kg	970.0kg	0.0kg	8,800.0kg	0.0kg
	本社	4,368.0kg	970.0kg	0.0kg	6,130.0kg	0.0kg
	魚津	742.0kg	0.0kg	0.0kg	2,670.0kg	0.0kg
	金沢	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
	福井	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
	関東	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
	横浜					0.0kg

		2021年度	2022年度	2023年度		2024年度
		(‘21.8.1～‘22.7.31)	(‘22.8.1～‘23.7.31)	(‘23.8.1～‘24.7.31)		(‘24.8.1～‘25.7.31)
		実績	実績	目標	実績	目標
排水量の削減	水使用量の削減(上水のみ)					
	全社	630.0㎡	688.0㎡	700.0㎡	667.0㎡	685.0㎡
	本社	447.0㎡	504.0㎡	510.0㎡	491.0㎡	500.0㎡
	魚津	89.0㎡	86.0㎡	90.0㎡	80.0㎡	85.0㎡
	金沢	63.0㎡	68.0㎡	70.0㎡	69.0㎡	70.0㎡
	福井	31.0㎡	30.0㎡	30.0㎡	27.0㎡	30.0㎡
	関東					
	横浜					

		2022年度	2023年度		2024年度
		(‘22.8.1～‘23.7.31)	(‘23.8.1～‘24.7.31)		(‘24.8.1～‘25.7.31)
		実績	目標	実績	目標
環境商品の販売推進	環境商品の販売推進				
	合計				422,400万円
	本社				231,600万円
	魚津				93,600万円
	金沢				63,600万円
	福井				33,600万円

2.実施体制



役割・責任・権限	
代 表 者	・環境経営システムの実施及び管理に必要な、経営資源の提供 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し ・全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、維持 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成
EA21事務局	・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付と地域事務局への送付) ・全部門における環境活動の推進
ISO 推進委員会	・毎月活動実績の報告 ・連絡事項の通達
責 任 者	・自部門における環境経営システムの実施及びチェック ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全 従 業 員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・EA21について決められたことを守り自主的・積極的に環境活動へ参加

（7）. 取組状況の確認及び評価

（2023年8月1日～2024年7月31日間に於ける活動とその評価）

環境活動の内容	目標達成率	取り組み結果の評価
電力の削減 ・室内冷暖房の適正温度厳守 （暖房23℃、冷房27℃） ・昼食時及び不使用エリアの消灯	【目標】 109,000kg-co ² 【実績】 3.0%減の112,365kg-co ²	2017年度は11.42%減 2018年度は4.7%増 2019年度は0.5%増 2020年度は2.9%減 2021年度は4.9%減 2022年度は7.1%減 2023年度は3.0%増 節電に対する活動は定着しており 引き続き現状維持、異常値の発見 ができるよう継続して取り組んでいく。 本社事務所のLED電灯の検討を行う。
自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速、急停車の禁止 ・無駄な積載荷物の確認及び過積載の禁止	【目標】 144,000kg-co ² 【実績】 1.05%減の150,897kg-co ²	2017年度は4.8%増 2018年度は4.2%増 2019年度は1.1%減 2020年度は18.4%減 2021年度は2.7%増 2022年度は0.7%減 2023年度は1.05%減 継続して「エコドライブ」の推奨とハイブリットカーの 導入に取り組んでいく。 今後も維持できるよう取り組んでいく。
灯油使用量の削減 ・室内冷暖房の適正温度厳守 （暖房23℃、冷房27℃）	【実績】 2,242kg-co ²	冬期間の暖房用として魚津のみで使用
ガス使用量の削減 ※活動内容指定せず	【目標】 12,015kg-co ² 【実績】 7.3%増の12,901kg-co ²	2017年度は4.9%増 2018年度は0.8%増 2019年度は10.5%増 2020年度は59.8%増 2021年度は62.9%増 2022年度は53.6%増 2023年度は7.3%増 本社空調のみで使用 2F事務所増設による空調での使用。
一般廃棄物の削減 ・両面印刷、両面コピーの推進 ・裏紙使用	【目標】 2,755.0kg 【実績】 4.5%減の2,630.5kg	2017年度は10.9%減 2018年度は18.2%減 2019年度は11.2%減 2020年度は17.1%減 2021年度は13.6%減 2022年度は18.4%減 2023年度は4.5%減 営業資料のペーパーレス化は完了。 ワークフロー導入による書類の電子化を進める。 楽々精算、電帳法対応による削減に期待。

環境活動の内容	目標達成率	取り組み結果の評価
産業廃棄物の削減 ・ゴミ分別の徹底	【目標】 維持 【実績】 8,800kg	毎月の排出量把握が難しく、目標は立てずに維持管理とするが、排出時の社内ルールの徹底を強化していきたい。廃棄物保管場所の整理、ルール決めの実施。
リサイクル推進 ・ダンボール、カタログ、新聞、コピー紙など、紙類のリサイクル徹底 ・ゴミ分別の徹底	【目標】 6,031.0kg 【実績】 107.3%達成の6,475.2kg	2017年度は80.1%達成 2018年度は77.0%達成 2019年度は81.8%達成 2020年度は83.8%達成 2021年度は85.2%達成 2022年度は70.1%達成 2023年度は107.3%達成 ゴミ分別を徹底し、リサイクル回収へまわす今後も維持できるよう取り組んでいく。
水の使用量の削減 ・節水活動の啓蒙	【目標】 700.0m ³ 【実績】 4.7%減の667.0m ³	2017年度は2.7%減 2018年度は1.0%減 2019年度は6.3%減 2020年度は8.9%減 2021年度は6.6%減 2022年度は1.6%減 2023年度は4.7%減 生活用のみでの使用であり、今後も維持していけるよう取り組んでいく 一人当たりの使用量について経過観察を行う
環境商品の仕入増 ・お客様へ環境に配慮した商品の拡販	【目標】 8,850千円 【実績】 71.9%達成の6,365千円	2018年度は25,138千円 2019年度は29,027千円 2020年度は10,069千円 2021年度は3,900千円 2022年度は8,976千円 2023年度は6,365千円 計画的な営業展開の実施。 集計コードの使用を再確認及び再周知。

（8）．環境関連法規への違反・訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらの法律に対する違反はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境法令	遵守状況
廃棄物処理法	法律に従って排出しております。
リサイクル法	法律に従って廃棄しております。
家電リサイクル法	法律に従って廃棄しております。
消防法	法律に従って維持管理しております。

(9). 代表者による全体評価の見直し・指示

代表者による評価・見直しの記録		検 印	検 印	作 成
見直し実施者	代表取締役社長 小嶋 匡	八倉 孝	小嶋 匡	島田 大
見直し実施日	2024.8.9	2024.8.9	2024.8.9	2024.8.9
確認・評価した資料				
文 書	確 認	記 録		確 認
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック		✓
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック		✓
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認		✓
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録		✓
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録		✓
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果		✓
環境活動レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書		✓
取組状況全体の評価				
システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)			適	不適
取組が適切に行われているか			適	不適
見直しの必要性				
環境方針	あり	なし	実施体制	あり
環境目標	あり	なし	その他	あり
環境活動計画	あり	なし		
見直し具体的内容				
< 全体的な環境活動に関し > 2024年度より活動実績の計画は前期実績を参考に設定する。 毎月、各排出数値のチェックを実施し、異常値の発生時にすぐに対応できるよう取り組んでいます。 今年より集積算が本格稼働し、紙ベースの申請から電子申請に変更となり 効率的にも環境的にも改善されており 更に今後は紙ベースの請求書の電子化等も予定しており 電子化による更なる効率アップ 環境負荷低減に向けて積極的に取り組んで行きます。 当社の事業活動において一番環境負荷の大きい車両に関しては、今後導入の営業車両は全てハイブリット車両での導入としています。 引き続き当社が積極的に環境問題に取り組んでいる企業であることをPRしながら企業価値の向上に取り組んで行きます。 以上				